

平成28年度事業報告

1. 平成28年度、理事会及び評議員会の開催について

(1) 第74回評議員会

- ・ 日 時 平成28年5月26日(木) 午前10時30分～
- ・ 会 場 スクワール麹町5F「寿」
- ・ 議 案
第1号議案 平成27年度事業報告について
第2号議案 平成27年度決算について
その他 報告事項

上記2案が審議され、承認された。

(2) 第84回理事会

- ・ 日 時 平成28年5月26日(木) 午後1時30分～
- ・ 会 場 スクワール麹町5F「百合」
- ・ 議 案
第1号議案 平成27年度事業報告について
第2号議案 平成27年度決算について
その他 報告事項

上記2案が審議され、承認された。

(3) 第75回評議員会

- ・ 日 時 平成28年11月28日(月) 午前10時30分～
- ・ 会 場 こどもの国 2階会議室
- ・ 議 案
第1号議案 定款の改正について
第2号議案 評議員選任・解任委員会の設置について
第3号議案 評議員の選任について
報告事項 28年度上半期事業報告
その他

上記3案が審議され、承認された。

(4) 第85回理事会

- 日 時 平成28年11月28日(月) 午後1時30分～
- 会 場 こどもの国 2階会議室
- 議 案
 - 第1号議案 定款の改正について
 - 第2号議案 評議員選任・解任委員会の設置について
 - 第3号議案 評議員の選任について
 - 報告事項 28年度上半期事業報告
 - その他

上記3案が審議され、承認された。

(5) 第76回評議員会

- 日 時 平成29年3月30日(木) 午前10時30分～
- 会 場 エムワイ貸会議室四谷三丁目
- 議 案
 - 第1号議案 平成29年度事業計画について
 - 第2号議案 平成29年度予算について
 - その他 報告事項

上記2案が審議され、承認された。

(6) 第86回理事会

- 日 時 平成29年3月30日(木) 午後1時30分～
- 会 場 エムワイ貸会議室四谷三丁目
- 議 案
 - 第1号議案 評議員の選任について
 - 第2号議案 平成29年度事業計画について
 - 第3号議案 平成29年度予算について
 - その他 報告事項

上記3案が審議され、承認された。

2. 入園者の動向

(1) 年間入園者

平成28年度の有料入園者数の状況は、上半期に天候などの影響があり、開園50周年記念イベントなどにより大幅増となった前年度（平成27年度）の90万人には届かなかったものの、下半期が好調だったことから、年間を通してみると予算の目標値であった87万8千人を若干上回るという結果となった。

具体的な年間有料入園者数については、880,602人と前年度の904,060人より23,458人少なかったものの、過去20年で最高の入園者数を記録した平成26年度の843,731人を36,871人上回っており、過去20年においては、前年度の90万人に次いで2番目に多い入園者数となっている。

上半期をみてみると、9月の週末に雨が多かったこともあり、前年比39,206人減の479,626人となっている。

また、下半期についても、寒暖の差の大きな日が続いたため、入園者数が前年比で減少した月もあったが、10月から3月までの6ヶ月間の入園者数をみてみると90万人超えを記録した昨年度の下半期の入園者数を15,748人上回るなど順調に伸びており、下半期だけでみれば平成2年度以来の40万人を超える入園者数を記録しているところである。

3. 広報・PR活動の強化等

(1) 広報・PR活動の強化

- ① 東急や小田急電鉄グループなど企業と連携する出張ワークショップとして駅構内やデパートなどに出向き、かざぐるまの工作を楽しんでもらう「出前こどもの国」を1年間で31回開催した。
- ② 関係企業イベントへの積極的タイアップや、企業の福利厚生に「こども招待券」を活用してもらう等、互いにメリットがある関係構築に努めた。
- ③ 新聞販売店と連携しその顧客への折り込みなど支援拡大に努めた。

(2) デジタルツールの強化

平成27年1月にリニューアルしたホームページで新規コーナーの開設などの内容充実に努めたほか、特に豊かな自然をタイムリーに楽しんでもらえるよう折々の植物の生育開花情報や自然観察イベント開催情報などを発信して、親子、三世代家族、自然愛好者らの来園を促したほか、ウォーキング、ジョギングなど散策ルートの事例を紹介した。

(3) 自然をコンセプトに来園促進

子どもたちに自然に触れ楽しんでもらうため、4月に野草を摘んで、てんぷらで食べる「春をてんぷらで味わおう」、5月に「虫とりをしよう」、6月に「ザリガニ釣り」、7・8月には夜のイベント「セミの羽化とカラスウリの花かんさつ会」、9月に「バッタを捕まえてみよう&飛ばし大会」、10月に「秋の虫さがしかんさつ会」、12月に「冬の虫さがしかんさつ会」、1月に「冬の野鳥のかんさつ会」、3月には「シイタケを育てよう」などを実施した。

なお、「かんさつ会」は自然ボランティアの協力により実施している。

(4) 既存事業内容の充実

① プールの運営状況

営業期間は、7月16日(土)～8月30日(火)の41日間で、有料入場者数は74,379人、前年度比6,631人の減となっている。

② スケートの運営状況

営業期間は、12月17日から翌年2月26日の62日間で、有料入場者数は53,757人、前年度比1,631人の増となっている。

なお、スケート事業においては、早朝スケート教室、学校団体スケート教室などの開催により、学びの場を拡充し、子どもたちの教育、健全育成への寄与拡大を図っているところである。

(5) こどもの国ニュースの発行

広報紙「こどもの国ニュース」は、タブロイド版カラー4ページで、学校が夏休みの8月以外の毎月、年11回発行した。各号4万7千～9千部を印刷し、うち3万7千部は、教育委員会・教育事務所を通じて全国の小中学校に配布、図書館やマスコミ、官庁、企業などに送付した。また、園内配布のほか、東京都町田市、横浜市緑区・青葉区・港北区、川崎市宮前区・麻生区の新聞販売所を通じて、約9千部を無料で家庭に配布した。

4. 地域との連携強化

(1) 地域との交流の推進

- ① 近隣地域との交流を推進するため、夏・冬休みの地元自治会主催の「親子の集い」行事にプール及びスケート場を無料開放した。
- ② 地元青葉区とは区民デーを設け子どもたちの無料入園を実施した。
- ③ 11月3日に開かれた「青葉区民まつり」に、かざぐるま工作のワー

クショップを出店したほか、こどもの国で採れた銀杏を販売した。

- ④ 鉄道会社など企業や警察、消防などの公的機関及び地域団体等との連携により、園内において「110番の日」や「防災AOBA2017」のイベントを開催したほか、パトカー、白バイ、消防自動車の展示等を行った。

(2) 職場体験学習の生徒・学生の受け入れ

総合的学習・進路学習に寄与するため、地元の中学・高校が実施する職場体験学習の生徒を積極的に受け入れた。

また、地元小学校の生活活動の一環として、竹林整備と中央広場の花壇へのチューリップの植栽を実施した。

(3) 第33回全国都市緑化よこはまフェアとの連携について

都市緑化意識の向上や都市緑化に関する知識の普及等を図ることにより、緑豊かな潤いのある都市づくりに寄与することを目的として、昭和58年から全国主要都市の持ち回りで開催されている「全国都市緑化フェア」が平成29年3月25日（土）から6月4日（日）まで横浜市において開催しているが、自然に恵まれた「こどもの国」が連携施設として位置づけられていることから、主催者の横浜市等の諸機関と連携し、美しい横浜を表現するための色とりどりの花壇の設置をはじめ、各種イベントの実施に向けた準備を進めた。

5. 主な事業

「こどもの国協会の解散及び事業の承継に関する法律」（昭和55年法律第19号）第1条第3項に掲げる事業として、既存施設・設備を引き続き運営するほか、次の事業を行った。

(1) 自然の中での学習と遊びの場の提供

豊かな自然を活用した各種の催事・事業を進め、学校教育では得がたい学びの場、自然とのふれあいの場、遊びの場、親子の絆づくりの場を提供した。

また、みどりのボランティアの協力によりボランティア畑で各種農業体験イベントの開催し、イモを収穫してもらった「家族でジャガイモ掘り」、「家族でサツマイモ掘り」や枝豆収穫などを実施した。

(2) 自然と親しむ

2年ぶりとなった「カブト幼虫つかまえよう」や昨年復活した「ザリガニ釣り大会」をはじめ、恒例の自然体験など自然を生かした四季折々のイベントを開催した。

また、自然を紹介するビジターセンターについて、3月から11月までの毎週土曜・日曜及び祝日に開館した。

(3) 自然環境整備及びそれに付随した事業の実施

豊かな自然を維持するため、樹木の剪定、伐採、植樹などを行った。

(4) センターとしての指導的役割

全国に設置されている「地方こどもの国」等の関係施設を対象に積極的な情報交換等を行うこと等により、児童厚生施設の中核的施設としての役割を果たしていくための取り組みを行った。

(5) 自主イベントの安定開催と強化

さくらまつり（4月1日～5日）、こどもまつり（11月26・27日）、梅まつり（平成29年2月18・19日、25・26日の土・日曜日）、ツバキまつり（平成29年3月25・26日）を継続して実施した。

また、顧客満足度を高めるため、「七夕そうめん流し」や「野外でバームクーヘンをつくろう」、「マキでピザを焼こう」などの応募イベントを開催した。

(6) 自主事業の実施

自主事業として実施するもののうち主なイベント

① こどもの国吹奏楽コンテスト・青空コンサート

第35回を迎える吹奏楽コンテストを10月23日に開催し、東京都、神奈川県の小中学校から25校の吹奏楽部が参加した。

また、近隣の中学校の吹奏楽部が参加して中央広場で演奏を披露する「春の青空コンサート」を5月14日と15日に開催し、20校が参加したほか、吹奏楽コンテストに合わせて「秋の青空コンサート」を開催し、11校が参加した。

② こどもの国サッカー大会

平成28年度から少年サッカー大会をサッカー大会へと名称変更した。

第35回となる大会を11月5日、6日、12日の3日間で開催し、東京都、神奈川県近隣6市から選抜された小学低学年から小学高学年の

各12チームが参加した。また、少女の部には6チームが参加した。

(7) 助成による事業の実施

企業の助成を受けて実施するイベント

① 春まつり、秋まつり

朝日新聞社との共催により、春（5月3日～5日）と、秋（10月8日～10日）の行楽シーズンに、子どもたちが楽しめる多彩なイベントを開催した。

② 牛乳まつり、牧場まつり

雪印メグミルク主催による牛乳まつり（5月29日）、雪印メグミルクの助成で開催する牧場まつり（11月5日）において、牧場ならではのイベントが開催された。

③ ジャンボかるたとり、どんど焼き

テレビ朝日福祉文化事業団の助成で正月行事のジャンボカルタとり大会（平成29年1月2、3日）と、どんど焼き（平成29年1月14日）を実施し、どんど焼きでは焼き芋を300人に振る舞った。

④ サンマを炭火で食べる会

女川漁港、気仙沼漁港からサンマ3,300匹の無償提供をはじめ、天塩、コカ・コーライーストジャパン、サントリービバレッジ、ミツカンの協賛、東京燃料林産の協力により9月24、25日に開催した。参加人数は2日間で計2,730人（申し込み人数は約4,000人）。売上金及び募金を両港に復興支援として寄付した。

④ 神奈川県児童福祉施設駅伝大会、卒業生送別マラソン大会

資生堂社会福祉事業財団の一部助成で、11月19日に神奈川県内の児童福祉施設の子どもたちが参加する「児童福祉施設駅伝大会」及び「児童福祉施設女子駅伝大会」、平成29年1月14日に神奈川県内の児童福祉施設の子どもたちや職員が参加する「養護施設卒業生送別マラソン」を開催した。

6. 今後50年のあり方の検討

こどもの国が、この先の50年も引き続き、変わらぬ緑豊かな自然を活用しながら、地域に開かれた児童厚生施設として、さらに大きな役割を果たしていくことを目的として、「こどもの国の今後50年のあり方」について、園内に検討会を設置、様々な観点から検討を行い、経営の安定に資するための報告書を取りまとめた。

7. その他

平成23年3月11日の大震災以降、こどもの国は被災者に対し、入園料金、夏季のプール及び冬季のスケート利用料金を無料としている。また、被災者支援を行う各団体（NPO法人等）にも可能な限り協力を行った。

以上